

受賞者の声（公開）

氏名	蟹江 慧	
受賞時所属	(所属) 名古屋大学大学院創薬科学研究科	
	(職名) 助教	
現所属	(所属) 近畿大学工学部化学生命工学科	
	(職名) 准教授	
受賞テーマ名	医療応用を目指したペプチドマテリアル創出 DX 研究	
受賞テーマにおける研究活動の現況		
<p>昨年度、第 16 回わかしゃち奨励賞応用研究部門にて上記テーマにて賞をいただきましたこと、誠にありがとうございます。私が応募いたしました研究テーマは、医療応用の展開を目指したペプチドマテリアルを創出する研究です。そのためには、2つのアプローチから展開する必要性があると考えております。1つは、ペプチドマテリアル情報を用いたマテリアル設計になります。ペプチドやその基盤材料との組み合わせにより、細胞への相互作用が劇的に変わります。その性質を理解するために、ペプチドや高分子材料の物性値情報を利活用して設計をいたします。もう1つは、マテリアル評価に使用する動物細胞の、履歴情報の明確化になります。動物細胞の評価も大切ですが、それを調整する実験手技の計測情報も結果を左右する有用な情報になります。</p> <p>現在は、足場材料としてのペプチドの組合せ検証の実施や、新規特殊ペプチドの評価等を実施するとともに、他施設における動物細胞培養の作業計測を行うことで、施設間の比較をする準備を整えております。</p>		
今後における研究活動の展望		
<p>現在は、特定のペプチドと高分子材料における、特定の細胞種による細胞応答の評価を実施しているに過ぎない。今後は、より体系的なペプチドマテリアルの評価系を構築し、実施細胞種の数を増やすことで、対応する医療分野の展開を広げていきたいと考えている。また、動物細胞培養の作業計測も、施設間による違いや、どの操作が重要項目であり、改善可能かの明確な答えが出ていない。そこで、他施設での実施例を増やしていくことや、他施設でもすぐに使用できるツールやソフトウェアの開発等を目指していきたいと考えている。</p>		
受賞後の反響・各賞の受賞等		
<p>受賞後の 2022 年 4 月から、近畿大学工学部の准教授として、研究室を運営していくこととなりました。いただきました賞金を、研究室のセットアップ経費として使用させていただきました。2022 年度、2023 年度と、4 年生の新規研究室配属を 7 名もしてもらうことができ、これもセットアップがスムーズに行えた受賞後の反響であると考えております。</p>		
わかしゃち奨励賞への期待		
<p>私の方から何か申し上げることは大変おこがましいですが、引き続き若手研究者への表彰事業を愛知県として続けていただければ幸いです。</p>		